

# 七夕集会



【7月5日に行われた飾り付け】



【体育館に立てられた七夕飾り】

7月6日（水）5時間目に、児童会ふれあい集会委員会が中心になって七夕集会を行いました。1日に七夕飾りの作成、5日に飾り付けを行い、体育館には全校児童の願い事が飾られた笹が4本立てられました。

七夕集会では、全校で「七夕の歌」を歌ったり、集会委員会が七夕の由来を劇で紹介したりしました。また、「みんなでつながろう天の川」ゲームや、クイズ「だれの短冊？」などをしました。

子どもたちの願いから

- ・トマトが早く赤くなりますように
- ・チアリーダーの先生になれますように
- ・かがくしゃになれますように
- ・家族と自分が健康にくらせますように
- ・薬剤師になれますように
- ・あしがはやくなりますように



【職員も皆短冊に願いを込めました】

## 1年生が節電を学びました！



7月4日（月）1年生が節電について勉強しました。東北電力の方から、発電の仕組みや、発電所から家庭に電気が届く様子を教えていただきました。次に、電気製品の中でどれが最も電気を使うか、エアコンは何度に設定したらよいかなどを学びました。

節電の授業の様子をニュースで見ました。どの子もみんな興味をもって楽しそうに話を聞いている姿を見て、こちらもうれしくなりました。「ぼくも節電する。」と言って、電気を消しながらご飯を食べていました。

1年生の保護者の方から

【左：節電の授業中テレビ局の取材を受けました】

# 「地産地消」の推進「越の丸なす」と「落」



〔7月4日「越の丸なす」と「落」を使った給食〕

糸東小学校では、地域の方々の支援をいただいて、「地産地消」を進めています。7月4日（月）の給食には、「ふきのいために」と「味噌汁」が出ました。この材料に、糸魚川産の落（ふき）と越の丸なすを使用しました。

落は、能生地区の渡辺永さんから分けていただきました。さっとゆでた後、5年生が皮をむきました。一度茹でるとあくが抜けて、指が黒くなりません。また、越の丸なすは、今井地区の農家田木桂治さんから分けていただきました。つやのある紫色をした、大人の握り拳2つ分位ある大きななすです。



〔落の皮をむく渡辺永さん（中央）と5年生〕



〔「越の丸なす」と「落」〕

7月13日（水）には、2年2組で、学校栄養職員と担任が、「感謝の気持ちをあらわそう」と題して、給食にかかわる人たちに感謝の気持ちをもつことをねらいとした授業を行いました。

ゲストティチャーとして給食調理員さんと、農家の代表として越の丸なすを提供して下さった田木桂治さんにお出でいただきました。田木さんからは、越の丸なすを作っていること、気を付けていること、つらいことやうれしいこと、願いを語っていただきました。子どもたちは、農家の方や調理員さんの苦労や願いを知り、感謝の気持ちをふくらませていました。感謝の気持ちで、給食の残量が少しでも減ることを期待しています。



〔2年生の食育の授業で「越の丸なす」を紹介する、生産者農家の田木桂治さん〕